



【鈴木さとしのプロフィール】

- 岩手県出身 新潟大学法学部卒業(株)第一経営相談所勤務 行政書士
- 現在、市議 6 期、党市議団長 総務常任委員会委員
- 主な活動地域 塚越 2・3・6・7 丁目 中央1・3・4・5丁目

物価高騰の影響と市政運営・市民負担について

鈴木 長引く物価高騰の影響は市政運営にも市民生活にも及ぶ。本市の財政見通しと市民負担にかかわる対応について市長の見解はどのようなか。

市長 健全な財政状況が維持できているが物価高騰などの影響は注視する必要がある。市立病院の建替え等の事業では、財源確保とともに持続可能な行政運営の展望を持ちながら進めることが大切。一方、市民生活は厳しい状況であり、市民生活を守ることが一番の仕事。法律や国・県の関係で市民負担の見直しが避けられない場合でも最低限にとどめ、丁寧な説明に努める等最大限努力する。全体での物価高騰対策についても課題はあるが努力したい。

鈴木 当面、市民負担への影響を最小限とする対応を要望する。

多文化共生の取り組み

鈴木 多文化共生指針の実施状況と課題はどのようなか。

市民生活部長 これまでに 83.

8%の項目を実施してきた。今後は外国人住民が必要とする情報の提供や生活上の義務・ルール等の理解促進が課題。また、住民同士が異文化の理解を深める上で交流機会を増やす等の観点からキーパーソンの発掘・育成に努めている。

鈴木 ヘイトスピーチ等は地域に差別や分断をうみだし、多文化共生を否定する。その中で言われている「外国人は優遇されている」との言説は事実ではないと認識するが、国保と生活保護の外国人住民の状況はどのようなか。

市民生活部長 国保被保険者の外国人割合が 25.3%に対し、医療費では6.84%となる。

健康福祉部長 生活保護世帯全体での割合は3.5% (人口の割合は約13%) となっている。

鈴木 優遇されている状況ない。事実と多文化共生の意義などを伝えることが必要。「ヘイトスピーチ禁止条例」の検討を要望する。

他に、**猛暑対策と給食センター空調整備、生活保護について**を質問

やまわき紀子議員の一般質問項目

- ◆ごみ減量化(生ごみ処理機補助、リチウムイオン電池の処分方法)
- ◆自転車も歩行者も安全なまちづくりを(道交法の改正にあたり)
- ◆学童保育について(常勤職員の配置、南小学区への増設、長期休業中の宅配弁当)
- ◆健康保険証の利用停止について

外国人差別を考える 多文化共生のまちづくりを 日本共産党市議会議員団の見解

「外国人ばかり優遇され日本人の暮らしは大変」「外国人が増えて治安が悪化」などという言説を耳にしますが本当でしょうか。実際は、蕨市でも全国的な傾向と同様に、国民健康保険や生活保護における外国人優遇の実態はなく、外国人人口が増えている中でも犯罪発生数は減少しています。一方で、差別・偏見を助長し分断と対立を広げるヘイトス

ピーチや政治上の動きなど、今日の問題は深刻です。様々な要因による不安を解消していくうえでも、日本人も外国人も互いに理解と交流を深め、力を合わせて地域を支える多文化共生のまちづくりが大切だと考えます。

※詳細は日本共産党市議会議員団のホームページをご覧ください。

